

駒場松桜会会報

第95号

2014年9月1日発行

一般財団法人
駒場松桜会

都立駒場高校同窓会

〒153-0044
目黒区大橋2-18-1
都立駒場高校内

TEL/FAX

03-3466-7579
(毎月曜日の業務日
以外は留守番電話)

携帯電話からも住所変更ができます。



住所変更専用
QRコード



「半世紀たって、30年たって」
人間交流のはじまり
駒場が

室謙二 (駒16)

今回、寄稿をお願いした室謙二さんは、現在、文学や政治に関する評論・批評の他、伝記やコンピュータ、音楽など幅広いフィールドで、執筆活動を中心に活躍しています。その室さんの活躍の原点は駒場時代にあったようです。1984年から北カリフォルニアに住み、アメリカの市民権をとっている氏の、高校時代の交友関係をテーマにした、リアリティー溢れるエピソードです。

■ 私たちが駒場高校を卒業して50年たったらしい。

私がカリフォルニアに住み始め30年たった。50年とか30年というのには相当な長さだね。若いころは数年の単位で、それ以前のことを考えていた。このごろは数十年の単位で、過去のことを考えるようになった。これが年寄りというものなのだろう。もっとも気分はあまり年寄りではないのだが。

いまから考えると、あのころはあまり駒場の同級生と付き合いなかった。それよりクラブ活動で、上級生とか下級生と平等な感じで付き合っていた。二学年以上の加藤登紀子(駒14・歌手)は、社研(社会科学研究部)の読書会の私のチューターで、本の読み方を教えてくれた。偉いものだなあと感心したけど、彼女はたったの18歳にすぎない。本当に偉かったどうかは分からない。卒業してから会ったら東大で演劇部に入っていて、その次に会ったら歌手になっていた。1973年にメキシコシティで、当時コレヒオ・デ・メヒコで教えていた鶴見俊輔さんに会ったら、加藤登紀子という人を知っていますかと言われた。

俊輔さんの元教え子の藤本敏夫と結婚したと報告をしてきたらしい。藤本は当時は学生運動で獄中だったので、代わりに加藤さんが俊輔さんに手紙を送ってきたようだ。

同じく二学年以上の佐藤信(駒14・演出家・劇作家)とは、クラブ活動の放送局で友人になった。一学年以上の矢吹申彦(駒15・グラフィック・デザイナー)とは、どうやって親しい友人になったのか覚えていない。矢吹と同じ学年に渡辺丈(駒15)がいて卒業した後も仲良かったけれど、ニューヨークに行ってしまった。何年か前に会おうと思って調べてみたら、ニューヨークでリトグラフ(石版印刷)の摺師をやっているらしい。これは高度の技術を要する。

学年が一年下には、松平維秋(駒17・ロック喫茶のマネージャー)がいたし、玉置俱子(駒17・翻訳家)がいた。こういう友人たちと、あるときはグループを組んだり、あるときは二人で校内とか校外で遊んでいた。遊んだといっても演劇活動だったり、芝居を見たりジャズを聞いたり、イベントをしたり、つまり青少年少女たちの「文化的活

動」だね。そんなことから、同級生といっしょに過ごす時間があるらなかったのです。



1972年ごろ。岡林信康(左)と京都で。

■ あるとき佐藤信がやってきて、彼はすでに卒業して俳優養成所にいたが、前衛舞踏を攻撃しようと言う。攻撃するといっても暴力を使うわけではなくて、当時みんなが前衛的だと思っていた「ハッピーニング」です。一年学年が下の友人は、渋谷の人通りの多い通りで、着るものを脱いで下着一枚になり、また着るといふハッピーニングをやっていた。そんなのがオモシロイと思っていたのだから面白い。

さて佐藤信が提案したのは、前衛舞踏の舞台上に客席から上がって踊りを妨害して、それから逃げようというのであった。観客にシヨックを与え

る。前衛だといつても、踊る方だつてある程度は驚くだろう。そういうハップニングが「芸術」だと思つていたのかもしれない。もつとも芸術なんていう言葉を使って議論したわけでもない。意外性の前衛舞踏の舞台に、もうひとつ意外性を与えようというわけ。

佐藤をリーダーに、私とか矢吹申彦、あとは覚えていない、それぞれ手に自分の選んだ武器を持っていた。私の武器は納豆でした。舞台上に飛び上がって、これを踊り手の顔にグニャリとくつつける。というのが段取りであった。しかし舞台上に飛び上がったら、ムロ少年はうわずつてしまつて踊り手の顔にグチャリができなくて、投げつけたけど当たらず、私はさつさと逃げた。ところがリーダーの佐藤は舞台上で捕まつて、関係者数人が彼を両手で上に持ち上げて(そのシーンを思い出すとなかなか演劇的であった)、舞台の袖に連れて行つてしまつた。さで大変だ。殴られたりしているのではないかとと思つたが、すぐに客席にあらわれて、もう妨害すると言われて解放されたらしい。

■渡辺丈がニューヨークに行つてもう帰つてこないぞ、と言うので歓送会をしたのをおぼえている。丈の家に何人か集まつて、朝まで話をしていた。お酒はほ

とんど飲まなかつたが、朝まで何の話をしていただけか? 夜が明けて、アメリカ大使館にベトナム戦争反対のデモをしようということになった。それで人通りのない道を、渡辺丈が住んでいた家からすぐそばのアメリカ大使館(いま鉄筋コンクリート10階建てビル)の大使館があるところに、1931年に建つた白亜の3階建ての大使館があつた)まで歩いて行つた。別に反戦のシュプレヒコールを叫ぶわけでもなく、そのとき歩いてい

た仲間が「文化的前衛」であつても、「政治的前衛」からはほど遠く、いちばん政治的と思われていた私に、渡辺丈は「何もするなよ」と念をおしていた。アメリカ大使館は、なんの警戒もなく早朝の光のなかにあつた。つまり散歩です。

こう書いていくといろんなことを思い出すけど、たとえばもう駒場を卒業していた二学年上の女性が九十九里浜に夏の家を借りて、高校生の私もさそわれて遊びにいつて泊まつた。これは楽しい思い出として記憶のなかにある。だけど悲しい思い出もある。

■松平維秋が、クラブ活動(放送局)の一年下で入つてきて、すぐに親しい友だちになつた。私はジャズを聞いていたけど、彼もすぐにジャズに熱中した。あれほど仲がよかった「友だち」

は、あの前も、あの後もいない。駒場を卒業すると、松平はすぐに渋谷のジャズ喫茶のマスターになつた。彼ともだんだんと会わなくなつたが、あの笑顔をいつも私の中にあつた。そして1999年にホスピスでガンを亡くなつた。「松平維秋の仕事」という本が一冊、友人(浜野サトル・翻訳家)の編集で残つた。いまになると親しい友人たちが次々と死んでいくが、彼がその最初の一人であつた。

● 略歴 ●

1946年(昭和21年)生まれ。高校卒業後、明治学院大学でフランス文学専攻。そのころから友人の演劇運動や、ベトナム反戦運動に参加。その後、評論家・編集者・ライターとして活躍。著書には、文芸批評「アジア人の自画像」(晶文社)、旅行記「帰らない旅」(教育研究社)、「非アメリカを生きる」(岩波新書)、「アメリカで仏教を学ぶ」(平凡社新書)、「天皇とマッカーサーのどちらが偉い?」(岩波書店)その他、政治論からT関連や音楽、料理まで多彩な分野で、著書、共著、翻訳など多数。1984年より米国北カリフォルニアに在住。再婚した妻の息子二人と、日本からきた自分の息子二人の、全部で四人の息子の父親。いずれもカリフォルニアに住んでいる。現在は市民権をとりアメリカ市民。

コチロンを踊る会 (下期)

活動予定日
火曜日：9/9、11/18、1/20、2/17、3/17
土曜日：11/15、1/10、2/14
時間：午後2時～4時
会場：生徒ホール

初心者大歓迎♪

コチロン合宿のお知らせ

日時：10月7日(火)～8日(水)
場所：国立女性教育会館
(東武東上線武蔵嵐山駅下車)
0493-62-6723
費用：宿泊代 3,080円
食事代 3,000円程度
申し込み：9月13日(土)までに事務局へ

《都駒祭のお知らせ》

日時 9月14日(日) 午前10時～午後4時
9月15日(祝) 午前10時～午後3時

美術展
仰光寮

講座「切り絵」の作品を展示します。また、今年も香淳皇后ご直筆の掛軸「桃の春」を展示公開いたします。

コチロンドンズ
五大陸前

9月14日(日)11時10分～11時40分
(雨天の場合は、旧芸術高校のホールにて
日時は同上)

お休み処
203教室

「お休み処」を設け、お茶を用意してお待ちしております。
松桜会の活動報告の展示もあります。
どうぞお立ち寄りください。

平成26年度 駒場松桜会

総会・同窓の集い 開催!

今年度の「総会・同窓の集い」は6月7日(土)に、昨年と同様にスクワール麹町で生憎の記録的な豪雨にも関わらず200名の参加をもって開催されました。

幹事学年である駒26・36・46を中心に第三卒の先輩から今春卒業の駒66迄の中から41期に渡る、いつになく幅広い参加者でした。

総会では、米田理事長のご挨拶に続く坂本校長からの母校の近況報告ではサッカー部の都立高校としては初の関東大会優勝という快挙が伝えられました。

総会に続き12月の松桜会コンサートにご出演の駒17神野優子さん姉妹によるヴァイオリン演奏により同窓の集いは開始されました。

会報に登場された駒4新井さん(85号)、駒26加藤さん(92号)のご挨拶に続き臨席頂いた先生方のご紹介の後、平島先生の乾杯のご発声で盛大に懇親会が始まりました。

現役の高校生活振りを伝えるDVD放映中、参加者一同もいつの間にか高校生に戻っていました。

昨年同様、駒49・55の有志の皆さんによる沖縄太鼓の演奏で会場は益々盛り上がり、すっかり恒例となったコチロン披露では今年は男性の参加も有りました。

第三・駒場の両校歌が全員で斉唱された後、各期毎やクラブ毎の記念撮影が和やかに続けました。最後は駒26渡邊さんによる元気な三本締めでお開きとなりました。

今回は幹事学年はもちろんですが、駒31や硬式テニス部からも大勢の参加者が有り、縦の交流が深まった様に感じられた素敵な一時でした。

上中 優(駒30)

次回は2015年6月6日(土)の予定です。 幹事学年は駒場27・37・47回の皆さんですが、 他学年の方々も多数のご参加をお待ちしています。

- 〈幹事〉
- 駒26 鎌田善和、渡邊博之、長友明子
 - 駒36 陣内秀史、渡邊伸一郎、西村広隆
坪田譲治、井口麻里
金剛寺千鶴子、六本木香織
 - 駒46 金木和也



ご出席の先生方と乾杯



ヴァイオリン演奏



助成金贈呈



米田理事長挨拶



幹事集合 三本締め!



コチロンダンス披露



沖縄太鼓披露



司会 西村広隆(駒36)



歓談のひとつき

集合写真



第三～駒9



駒10～25



駒27～66



駒26



駒36



駒46



◆ 駒場松桜会講演会のお知らせ ◆

元 NHK エグゼクティブアナウンサー

講師 **加賀美 幸子** (駒11)

講演テーマ **「心を動かす言葉」**

2014年 10月25日(土) 午後1時~
(午後0時30分開場)

都立駒場高校(旧芸術高校)ホール
(入場無料)

講演の後、校長先生、PTAの方を交えたパネルディスカッションを予定しております。

申し込み先
松桜会事務局に、電話、FAX、
同封のはがきまたはメールで、
参加人数を明記の上9月末日
必着をお願いいたします。
TEL/FAX: 03-3466-7579
(月曜日以外は留守番電話)
Mail: komaba999@komaba.or.jp

プロフィール

東京生まれ。1963年、NHK入局。ニュースから古典まで幅広く担当。女性初の理事待遇となる。退職後もアナウンサーを続け、ライフワークとして古典の原文朗読を中心に、様々な活動を展開。「千葉市男女共同参画センター名誉館長」「NPO日本朗読文化協会朗読名誉会長」「植草学園大学客員教授」「放送人の会理事」「日本文藝家協会会員」「公益財団法人長寿科学振興財団理事」他多数の公職も務める。著書に『こころを動かす言葉』『ことばの心・言葉の力』他多数。CDも多数。

2014年度 松桜会コンサート

神野 優子 (駒17)
ヴァイオリン・リサイタル

共演 ピアノ **川名ひさ子** (駒17)
ヴァイオリン **宮林 陽子**

日時: 2014年12月6日(土)
午後2時開演(午後1時30分開場)
場所: 東京オペラシティリサイタルホール
(京王新線 初台駅下車)
入場料: 3,000円(全席自由)

プログラム

第一部 ヴァイオリン独奏
アヴェ・マリア(バッハ=グノー)
ヴァイオリンとピアノのためのソナタ
K.378 変口長調(モーツァルト)
からたちの花(山田 耕筈) 他

第二部 ヴァイオリン二重奏
童謡のメドレー
草川 信 ゆりかごの歌
夕焼け小焼け
海沼 實 お猿のかごや 里の秋
みかんの花咲く丘 他

チケットのお申し込みは松桜会事務局に
電話、FAX、はがきまたはメールにて、
11月15日(土) までに。

TEL/FAX: 03-3466-7579
(月曜日以外は留守番電話)
Mail: komaba999@komaba.or.jp

今年の12月6日に松桜会のコンサートに出演させて頂くことになりました。皆さまに聴いて頂きますのを大変うれしく思っております。



松桜会コンサート **見どころ・聴きどころ**

6月7日、松桜会の同窓の集いに参加しまして、ヴァイオリンの二重奏を聴いて頂きました。大勢の参加の皆さま方とてもお元気で、大変和やかな雰囲気の良い会でした。特にコンチロンのダンスは圧巻でした。第三高女卒の方々や、また素敵

な男性もお二人参加されて、輪になり、二人で組になり、優雅に楽しそうに踊っておられました。素晴らしい伝統だと改めて思いました。

12月のコンサート、前半はヴァイオリンの独奏で名曲の数々を聴いて頂きます。モーツァルトのソナタは、22歳頃の作品で、当時演奏旅行で訪れたミュンヘンやパリなどの華やかな印象がうかがえ、モーツァルトの青春時代の傑作の一つに数えられています。

山田耕筈の「からたちの花」は、歌曲として有名ですが、ヴァイオリン奏者でもあった山田耕筈自身の編曲で、自由に幻想的な曲になっています。歌の中に「みんな、みんな、やさしかったよ」という歌詞がありますが、駒場高校での楽しかった日々を思い出して演奏したいと思って

プログラムの後半は、私の姉、宮林陽子とのヴァイオリン二重奏で、草川信、海沼實両氏の童謡のメドレー等を演奏致します。お二人とも私の郷里、長野市松代町出身の童謡作曲家です。草川信氏は、府立第三高女で音楽を教えておられたことがあるそうです。同窓の集いでお会いしました素敵な大先輩の方が、草川氏の教えを受けた事を伺って、姉と二人でとても感激しました。

当日のコンサートで、皆さまにお会いできますのを心より楽しみにしております。

神野優子

せんせ.

第14回



略歴

静岡県立葦山高校卒業後
 東京教育大学理学部物理学科に
 入学
 1965年3月 同大学卒業
 4月 東京都教員 都立青山
 高校定時制
 都立稲城高校を経て
 その後 都立駒場高校に赴任
 1984年4月
 都立駒場高校に赴任
 2001年3月
 都立駒場高校を定年退職

駒場高校の思い出と現在の生活

小野 啓一(理科・物理)

流星観測の結果の発表や手づくりプラネタリウムの公開を生徒自ら計画し、進めていった。このように自分の頭で考え、行動する経験はホームルーム活動や学習活動にも発揮され、学園祭の盛り上がりや、進学率の向上につながっていったと思っ

○同僚や生徒から沢山のことを学んだ
 1984年から17年間お世話になったから、私の教員生活の半分近くが駒場の生活だったわけだ。担当は物理で主に2、3年生を教えた。また駒39、45、49、55回生とは担任として11年も共に生活した。特に、駒39回生は赴任すぐで、右も左もわからぬ中、始めのひとは入学した生徒と一緒に学校の中を探検する日々だった。自主的に考え行動できる生徒だったから、随分助けられた。

○新校舎建設を経験

私の赴任中の大きな出来事のひとつは、新校舎の建設である。現校舎を使用しつつ、平行して南側にあつた体育館、プール、生徒ホールを壊してその跡地に新校舎を建築する方式だった。入学の年からこの計画が進められた駒45回生は騒音や夏の暑さに悩まされ、新校舎に入らずに、卒業式も世田谷区民会館で行われたのである。

○沖繩修学旅行が実現

都立高校でも飛行機使用が許され、駒44回生から沖繩修学旅行が実現した。1945年まで続いた戦争で地上戦がおこなわれ、アメリカの占領下にあつた沖繩の現実を駒45回生から平和教育の一環として体験させることができた。

○私の生活

母親の介護のため、生まれ育つた静岡県三島市に2006年に戻った。母校の県立葦山高校で物理の時間講師をしたが、退職し、現在は三島郷土資料館のボランティア、地域案内ボランティアをしている。特に郷土資料館では昔の道具を見せて触って体験させることのお手伝いしている。火起こし体験、石臼体験、縄ない体験は小学生だけでなく、親御さんにも好評である。作業服を着てやっている。写真は石臼を使って、いった大豆を黄な粉にする作業の風景である。

○生徒が自主的に活動した

部活動では科学部の主顧問だった。赴任した年に物理同好会が部に昇格。生徒の発案でかつて存在していた理系の部活動を統合した内容のものをしようとして科学部とした。この名称の部活動は全国の学校で、初めてではないかと自負している。

○生徒が自主的に活動した

早速、1984年の夏休みに菅平で流星観測の合宿を行った。その合宿計画はすべて生徒が行い部員数は30人近くいた。かつて自分が地方の高校生だったころ行っていた生徒の自主活動がまだ残っていて、かつての都立高校の伝統がまだ息づいていると感激したことを思い出す。学園祭では

○生徒が自主的に活動した

また、物理の専門家として反原発運動、環境問題の住民運動のお手伝いをしていく。

○生徒が自主的に活動した

皆さん、三島、伊豆は過(こ)しやうい(い)ところですよ。遊びに来てください。連絡いただければ案内します。

コチロンに魅せられて 鈴木 恵美子 (旧姓 森嶋) (第三42)



1941年第三入学時は日支事変中でも内地は平時と余り変わらず、秋の運動会は着飾った和服姿の卒業生でお山は花盛り。12月大東亜戦争勃発後は次第に戦時色濃くなり、ゲートルを巻いて登校する日があり、途中で籠(かご)が緩むようにずれ、直しつづ校門に辿り着くと、門は閉ざされ遅刻者数人、シャケ(池田先生)から大目玉を喰らう。1、2年は厳しい石川先生が担任、楽しい音楽の三部合唱、クラブは秋山先生の生物班、蛙の解剖等。4年から三菱重工へ勤労働員、私は倉庫で帳簿付、機械現場の班は油まみれで大変でした。4年で繰上卒業。

1945年5月東京大空襲で青山の自宅は第三と同日に全焼、7月松原湖の旅館で医専入学式、8月15日終戦となり、焼失を免れた東京の本館での授業となる。当時電力事情悪く地下の解剖室で実習中突然停電、貰って来た燭の焔が下りて来るのと人魂が揺れているように思わずキヤーと、前には蛙ならぬ人間の死体が横たわっているのです。警察病院内科勤務となつてからは5、10人の入院患者を担当、若い頃は月1、2回の当直、一晩に5、6人の急患の事も、翌日受持の入院患者診療、外来日の事もあり昼過ぎにやっと解放、交替で日曜出勤、内科入院患者の点滴注射に午前中一杯かかる。しかし今でも患者さんからお年賀状を頂戴し正に医者冥利に尽きる思いです。

1955年から順天堂薬理学教室へ内科勤務が終了後通い、10時頃まで実験し、1961年医学博士号を授与されました。2002年ひたたくり、2007年成田エクスプレスで席を立った時急カーブで、どちらも転倒、左右大腿骨骨折、手術リハビリで杖なしで歩けるように、若い頃はスキーで転倒しても骨折しなかったのに、破骨細胞と骨芽細胞のバランスが崩れ骨粗鬆症となり、これは既に50代から始まるようです。

以前からコチロンに参加させて頂いています、リズムに乗って踊るのは心地良いです。お蔭様で卒後60年以上も経つのに未だに母校と関わりを持たせて頂いております。

昔、夫と国際免疫学会、リウマチ学会などに出席、諸外国を巡りましたが、今は20年前夫と参加したポルトガルのツアーで知り合った旅友と海外旅行を楽しんでいます。5月に地中海に浮ぶマルタ、ゴゾ島へ、エジプトのピラミッドより古い紀元前5千年の歴史を有し、巨石神殿遺跡、絢爛豪華な聖ヨハネ大聖堂、青の洞窟等観光、街の民家のドアに鍵がぶら下り買物物がそこに置いたまま、治安の良さに驚き。

我々の青春時代は戦争の真つただ中でした。集団的自衛権の拡大解釈など以てのほか、全世界の平和を願つてやみません。

同窓生 spirit

1941年 第三高女入学
 1945年 帝国女子医専(現東邦大学)入学
 1950年 東京警察病院にてインターン
 1951年 医師免許証 警察病院内科入局
 1955年 病院勤務の傍ら順天堂大学薬理学教室研究生
 1961年 医学博士 警察病院定年後も嘱託医として2008年まで勤務
 1961年 運転免許取得 2012年 自主返納

プロフィール

- 1941年 第三高女入学
- 1945年 帝国女子医専(現東邦大学)入学
- 1950年 東京警察病院にてインターン
- 1951年 医師免許証 警察病院内科入局
- 1955年 病院勤務の傍ら順天堂大学薬理学教室研究生
- 1961年 医学博士 警察病院定年後も嘱託医として2008年まで勤務
- 1961年 運転免許取得 2012年 自主返納

医療のいまどき情報

帝王切開が増えているけれど

吉岡 知己 (駒31)



私は昭和54年に駒場高校を卒業し、一浪して秋田大学に入學しましたが、以来30年以上秋田にいます。「なまはげ」や「鱒」で有名な男鹿出身の妻と娘ふたりの4人家族です。娘たちには駒場のセーラー服を着てほしいとずっと思っていました。ふたりとも順調にこちらの高校に入ってしまったので、残念ながら叶いませんでした。数あるセーラー服のなかで駒場のセーラー服は日本一だと思っています。

今、帝王切開が増えていることが問題になっていました。我が国の帝王切開率は、1990年の10・0%から2011年の19・2%へと、20年でほぼ倍増したと報告されています。ご存じの通り、帝王切開は母体の子宮を切開して児を取出す方法です。かのJulius Caesarが帝王切開で出生したというのは作り話のようです。おなかを切られる母体の安全を考えれば、帝王切開より普通のお産(経産分娩)が優れていることは言うまでもありません。

帝王切開が増えた大きな要因は、「さかこ(骨盤位)」と「帝王切開をしたことがある妊婦」に、帝王切開をすることが当たり前になったことだと思えます。「骨盤位」の分娩は、私が医師になった四半世紀前は、経産分娩が当たり前でしたが、2000年に「骨盤位では帝王切開の方が児にとって安全である」という大論文が「Lancet」誌に発表されて以来、帝王切開が当たり前になりました。骨盤位の経産分娩では、へその緒が児と産道との間に挟まってしまふので、児が低酸素状態に陥って、やり直しがきかない状態になってしまう危険があります。「帝王切開をしたことのある妊婦」の分娩も、以前は経産分娩が当たり前でし

た。一度帝王切開をしてしまうと、次の分娩の時に、子宮を切開したところが裂けてしまふ危険があり、もし裂けてしまえば、母児ともに危機的状態に陥ってしまいます。これらの危険を回避するためには、前もって帝王切開をするより他ないのです。

これに加え、最近、女性の晩婚化に伴う妊婦の高齢化が顕著です。そもそも、高齢妊婦は難産になりやすく、しかも妊娠高血圧症候群をはじめとする、種々の産科的な異常を生じやすいので、帝王切開が必要になる場面が増えてしまっています。帝王切開が安全にできるようになったこと、少子のため母体より児の安全が優先されること、訴訟を回避するための産婦人科医の自衛手段、など、帝王切開が増え減らす方策は見当たりません。

私は、母児ともに安全なお産をいつも心掛けています。その結果、帝王切開が増えてしまうのは致し方ないと思えます。以前は、骨盤位の経産分娩こそ、産科医の腕のみせどころだったのですが、今は帝王切開こそ腕のみせどころになりました。だから、帝王切開を減らすことを考えるのではなく、帝王切開をより安

全に実施すること考えるべきだと思います。私の病院の最近5年間の帝王切開率は12・3%(324/2625)でした。出生率が日本一低い秋田県ですが、実は帝王切開率も日本一低いのです。少しだけ自慢です。

かねてより検討しておりました支部への支援について、2014年5月の松桜会理事會にて、些少ではありますが、ご希望の支部には通信費(支部会人数分の往復はがき代)を補助することを決定いたしました。詳細については、松桜会事務局までお問い合わせ下さい。

●仙台支部
東北地区には、優に百名を超える同窓会員がいらっしゃるが、会員の年代も20歳代から90歳代まで幅広く且つ地区の広大さや、交通の便、また各自のご都合等で各県毎の年次會合もままならないのが現状で、以前から、地政学的にも東北地区の中心である宮城県仙台市で年1回程度の全体會合を催してはどうか、という声が多く聞かれ、大震災後3年を経た今年度には、何とか実現したいと思いが一泊での楽しい語らいの場となったのであった。これには全国の松桜会会員や本部のご理解ご援助金が大いに役立ち、遠方の会員の交通費や、参加員の會合、宿泊費等も半額程度の負担で足りた事はとてもありがたかった。30歳代から90歳代まで、更に県外からもご参加頂き(写真参照)今後も年1回程度の継続會合や、東北統括支部結成への道筋も見えてきたような思いを抱けたのは、何よりの収穫であった。これを機に、長年務めた仙台支部長を後任に譲り、今後は顧問格として支援、本格的に小説や作曲等の作家活動にも取り組めそうなる礎ともなったのではと、個人的にも嬉しい限りである。これも偏に、同期間幹事をなさって頂いた三沢さん(駒15)や、先輩をはじめとする会員諸氏のご協力の賜であり、心から感謝を捧げたい。

松桜会支部の皆さまへ



母校生徒の活躍 (6月21日現在)

- サッカー部
 - ・関東大会東京都予選 優勝
 - ・関東大会 優勝(都立校・初)
 - ・インターハイ東京都予選第3位
- 女子バレーボール部
 - ・関東大会東京都予選 第11位
 - ・関東大会 ベスト16
 - ・インターハイ東京都予選第5位
- 体操競技部
 - ・関東大会東京都予選 個人第3位
 - 通過(関東大会出場)
 - ・インターハイ東京都予選
 - (男女個人各1名インターハイ出場)
- 柔道部
 - ・関東大会東京都予選
 - 女子個人 優勝(関東大会出場)
 - 女子団体 第5位
 - (関東大会出場)
- 剣道部
 - ・関東大会東京都予選
 - 女子団体 第3位
 - (関東選抜新人大会出場)
 - 男子個人 ベスト8敢闘賞
- 陸上競技部
 - ・東京都高校陸上競技選手権大会
 - 2種目延べ3名(関東大会出場)
 - ・関東高校陸上競技大会
 - 1種目1名第3位
 - (インターハイ出場)
- 水泳部
 - ・東京都南部・市外部ブロック合同記録会
 - 男子400mメドレーリレー
 - 女子400mリレー
 - 女子50m自由形
 - 女子100m平泳ぎ
 - (以上 全国大会出場)

駒場幼稚園便り

平成27年度新入園児募集のご案内
 満3歳児 約10名
 3年保育児 約25名
 2年保育児 お問合わせ下さい
募集要項・入園願書配布
 10月15日(水)より
願書受付・親子面接
 11月1日(土)

保育方針説明会(予約不要)
 9月27日(土) 10時~11時30分
 10月15日(水) 13時30分~15時
保育見学会(要電話予約)
 9月12日、18日、25日、30日
 詳細は駒場幼稚園にお問合わせを
 ☎03-3466-2959

茶の心に支えられて

茶道部は昨年度「東京都高等学校文化連盟会長賞」を頂きました。同窓会の方々はたまたまかけて生まれた私たちの茶道部が60年を経て今回このような形で評価されたことをとても嬉しく思います。毎年春に行う卒業お茶会では、

茶道部 東京都高等学校文化連盟会長賞受賞!

今年も百名以上の卒業生を迎えました。茶道部が代々大切にしている掛け軸の「松鶴千年契」という言葉の通り、卒業後もずっと見守ってくださる先輩方の温かさを感じます。百年後も千年後もこの伝統が続くよう、これからもこの茶道部とご縁を大切にしていきたいです。 茶道部部长 石井伶奈

- 百人一首部
 - ・全国高校小倉百人一首かるた選手権大会東京最終予選 第1位
 - (全国大会出場)
 - 演劇部
 - ・南関東高校演劇研究大会 優秀賞
 - 茶道部
 - ・東京都高校文化祭茶道部門
 - 東京都高校文化連盟会長賞
 - 科学部
 - 化学クラブ研究会発表会 進歩賞
 - 放送部(KHK)
 - NHK全国高校放送コンテスト
 - 東京都大会(関東大会決勝)
 - 個人2名奨励賞
- これからも母校生徒の応援よろしくお願いたします!

◆同期会開催のご案内◆

駒15古希記念同期会
 日時 10月10日(金) 午後5時
 場所 原宿 南国酒家迎賓館
 会費 7,000円
 ※詳細は別紙同期会通信をご覧ください。

駒17卒業50年記念同期会
 日時 平成27年5月23日(土)
 場所 渋谷東武ホテル
 (前回の場所です)
 詳細は改めてご案内致しますが、是非予定しておいていただきたく、よろしくお願いたします。
 幹事 遠藤 敬介

◆同期会の報告◆

駒16卒業50年同期会
 今年は卒業50年という節目に相応しく、5月17日(土)に霜垣、菱刈両先生を含め100余名の参加を得て盛大に開催された。
 トピックスは「物故者の報告」で。お亡くなりになった先生、生徒の顔写真にBGM入りのビデオを作成し、参加者全員で黙とうを捧げた。また、海外在住者の方からはビデオメッセージを頂き、さらにメッセージだけを頂いた方には顔写真の下にテロップを流した。さらに、卒業アルバムから部活動の紹介ビデオもありました。50年ぶりに参加した方もおり、旧交を温められたと大いに喜んでいただいた。
 また来年度元気で再会できるようにと祈りつつ会はお開きとなった。
 幹事長 橋本 胤男

鎌倉支部会開催のお知らせ
 日時 10月4日(土) 12時
 場所 鎌倉婦人子供会館
 連絡先 0467-2210640
 久保田雅子(第三41)まで

松桜会年会費免除のお知らせ

松桜会年会費は、当該年度中に80歳を迎える学年より免除となります。(今年度は駒5回およびこれより上の学年の皆さまが年会費免除会員です)
 なお、一口千円からのご寄付を承っております。今後ともご支援よろしくお願ひ申し上げます。

●京都支部

京都支部の夏は7月のこの日から始まります。
 毎年7月、滋賀県大津市の近江神宮で、全国高等学校かるた選手権大会が開かれます。駒場百人一首部はこの大会の常連です。特に今年は東京大会で優勝、堂々の代表1位ですから、支部の皆さんも燃えましたよ。第三43南の天野さんお手製の「歓迎うちわ」を持って、35人の大代表団を京都駅に迎ええました。カンパもあつという間に集まりました。孫のような生徒さん達を見ると嬉しくなります。
 今年も駒場高校は力の限り闘い、団体戦は準々決勝(ベスト8)、個人戦では3人が3位までに勝ち残ったそうです。ここに至るまでの部員の皆さん、顧問コーチの先生方、さらには部員のご家族皆さまのご努力に頭が下がります。ありがとうございます。
 また来年度夏の再会を楽しみにしています。
 京都支部長 佐藤久子(駒5)



松桜会講座のお知らせ(平成26年度下期)

9/15(祝) 締切

対象者：駒場松桜会会員・母校教職員・PTA会員 他

申込方法：往復はがきに、次の内容を記入してください。

①講座名 ②郵便番号・住所 ③携帯及び固定電話番号 ④氏名

⑤会員-卒業年度 教職員-所属 PTA会員-お子様の氏名・学年・ホーム

☆返信はがきには宛先の住所・氏名を記入してください。1つの講座につき1枚でお申込みください。

申込先：〒153-0044 目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校内 駒場松桜会事務局

A 講座

講師

荻原 千鶴(駒22)

お茶の水女子大学卒・同大学院修了。博士(人文学科)。上代文学会賞・日本古典文学会賞を受賞。上代文学会代表理事などを歴任。現在、お茶の水女子大学教授。

『万葉集』を読む—“歴史”のなかの人々—

「壬申の乱」「大津皇子事件」「遣唐使派遣」「大仏開眼」—私たちはこれらを、教科書や年表の一面に記された歴史上の事件として、理解したつもりになっています。しかし、その事件の渦中にあった人々にしてみれば、本人にとって、自身は「歴史上の人物」でも何でもありません。彼らは、悲しんだり喜んだりはらはらしたりして、現に生きていた人々でした。その人々の思いの一端を『万葉集』に探りながら、古代の歌の表現を考えてみたいと思います。

第1回 吉野への逃避行 第2回 二上山を弟として見る

第3回 遣唐使を見送る 第4回 大仏建立

定員：30名
受講料：2,000円
会場：東館 和室

10:30~12:00

10/18(土)・11/1(土)

11/22(土)・12/13(土)

B 講座

企画 講座部会

文の京(ふみのみやこ)路地めぐり

5つの台地と谷を有する文京区。緑豊かな路地には町歩きの見どころが満載です。松桜会オリジナルコースの路地めぐりをご一緒に。

第1回 神田上水の遺跡をたどって江戸の坂道を歩く 一関口編

第2回 根津界限と加賀屋敷の遺構を訪ねる 一弥生本郷編

第3回 江戸の庶民信仰のかたちとスピリチュアルスポットをめぐる 一本駒込編

第4回 お茶ノ水貝塚跡から周辺の名坂と名刹をめぐる 一湯島編

定員：30名
受講料：3,000円
(含 資料代、入館料、保険料)

11/15(土)・11/29(土)

12/20(土)・1/24(土)

10:00 最寄り駅集合

12:00 解散予定

C 講座

企画 講座部会

国立劇場 歌舞伎公演と文楽鑑賞教室

第1回 歌舞伎公演 「双蝶々曲輪日記」

松本幸四郎、市川染五郎 ほか

第2回 文楽鑑賞教室

人形や演目の初心者向け解説の後鑑賞します。

演目は9月初旬に決定。

定員：30名
観劇料：
歌舞伎 4,140円
(2等A席)
文楽 3,200円

歌舞伎 10/15(水) 12:00~16:30

文楽 12/12(金) 11:00~13:00

受講生の声

『切り絵講座』に参加して

以前から切り絵には、新聞などで見かけて、興味を持っておりましたが、見て楽しむのみで、自分で実際にするものとは思っていませんでした。道具選びも難しい気がしていました。今回この講座を知り、チャンス到来と感じてすぐ申し込みをしました。5回連続の講座でした。参加OKの案内が来て、その日の来るのが楽しみでした。

道具や材料なども全て用意して頂いておりましたので、すぐ取りかかることができました。線の切り方から始まり、小西先生の作られた下絵に切り込みを入れまじり。手を動かしながら作らされた下絵に切り込みを入れまじり。手を動かしたり、小西先生の作品を拝見させて頂いたり、毎回あつと言っ間々の2時間でした。初めは先生の下絵を切るだけで精いっぱいでしたが、段々欲が出て、自分の絵が出来ないかしらと思いはじめました。そこで我が家の猫を題材にしました。見ていただけでは分からない難しさもあり、小西先生に相談させて頂きました。御陰様で拙いながらも、自分の切り絵も出来ました。趣味の世界が一つ増え、楽しみが広がりました。

小西先生はじめ、道具の手配などのお世話を下さった皆様に感謝しています。これからは少しずつ切り絵を続けたいと思います。駒場祭の時に仰光寮で展示会も行われると伺いました。その時に又、皆様にお会い出来るのを楽しみにしています。
高橋妙子(旧姓 幸田) (駒19)

『ライフサイクルと健康』を受講して

2年前、家族の一員を失ってから急に老けこんでしまい、老いと健康との関連性に関心している折、松桜会講座で「ライフスタイルと健康」があると知り、初めて松桜会講座に参加を申し込みました。

第一回は「ライフスタイルと栄養」で、加齢に応じて栄養の摂り方を変えていくべきとのことでした。更にトランス脂肪酸についても詳しく説明があったので、加工食品の危険性と関係者の真剣な取り組みを知りました。

第二回の「脳のはたらき」では、脳の各部位の機能の話と、ホルモンの微妙な働きの話がありました。

第三回は「脳と心の病気」。やはり参加者の多くはアルツハイマー病(認知症)に興味があったので、私も科学的な説明に納得することが多かったのです。

第四回は「健康に生活するために」。膝や腰の痛みを和らげる方法を教えてもらいました。他にも低栄養を防ぐ為、食事の高カロリー、高たんぱく質の必要性も知りました。

マスコミ、インターネット等を通じて得た私の知識は断片的なものでしかありませんでした。田中裕二先生の講義は体系的で説得力があり、年齢に応じた健康法を具体的に得ることが出来ました。講義後も個人的にアドバイスをして下さり、ありがとうございました。事務局、幹事の皆様にも感謝申し上げます。このような有意義な機会の御提供に今後も期待申し上げます。
瀬尾学(駒33)

平成25年度事業報告

1. 総会『駒場松桜会総会・同窓の集い』
平成25年6月1日(土) 13時～15時30分
会場：スクワール麹町 参加者数 200名
2. 助成金
都立駒場高等学校生徒会へ贈呈
全国大会出場の部活動へ(陸上部、水泳部)
3. 特定寄付
学校法人駒場けやき学園駒場幼稚園へ
4. 松桜会講座開催
上期講座内容
A. 生涯数学よもやま話/長野 東(元本校数学科教諭)
B. 万葉集を読む/荻原千鶴(駒22)
C. 板作り(タタラ成型)による粘土成型/池端寛(駒17)
下期講座内容
A. 百人一首かるた教室/今井章(駒22)・荻原千鶴(駒22)
荒井智子(駒62)
B. 港区路地めぐり/講座部会
C. 国立劇場 歌舞伎公演と文楽鑑賞教室
5. コチロンを踊る会
毎月(除8月・12月)
月1日土曜日 14時～16時、第3火曜日 14時～16時
6. 松桜会コンサート
都立駒場高等学校生徒ホールにて
コチロン合宿
10月7日～8日 国立女性教育会館 参加者 25名
7. 都駒祭参加
平成25年9月15日(日)・16日(祝)
仰光寮の公開、講座の作品展 来場者120名
203号室での号外新聞展示 お休み処 来場者1030名
8. 松桜会会報発行
年2回 4月(92号)、9月(93号)
発行部数 各2万300部
9. 講演会
平成25年9月15日(日) 仰光寮にて
金城靖子(駒16) 石彫について
10. ホームページ運営

平成25年度損益計算書

一般財団法人東京都立駒場高等学校同窓会駒場松桜会

平成25年度決算報告書

平成25年4月1日から26年3月31日まで

単位：円

科 目	公益実施事業会計			小計	同窓会事業会計 事業費	法人会計	合 計
	継続事業1	継続2	特定寄付				
一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
事業収益							
音楽会収益	445,000			445,000			445,000
講座収益	254,500			254,500			254,500
同窓会年会費					4,102,100	450,000	4,552,100
同窓会入会金					1,725,000		1,725,000
集いの会収益					1,239,000		1,239,000
寄付金					429,800		429,800
雑収益					6,350		6,350
受取利息						19,642	19,642
経常収益計	699,500			699,500	7,502,250	469,642	8,671,392
(2) 経常費用							
事業費							
音楽会経費	617,435			617,435			617,435
講演会費	52,010			52,010			52,010
講座経費	307,340			307,340			307,340
美術展経費	49,453			49,453			49,453
コチロン経費	124,345			124,345			124,345
仰光寮維持費	420,000			420,000			420,000
助成金(高校)		870,910		870,910			870,910
助成金(幼稚園)			500,000	500,000			500,000
HP維持費	40,000			40,000	89,520		129,520
集いの会経費					1,264,471		1,264,471
会報発行費					1,199,660		1,199,660
会報発送費					2,791,844		2,791,844
名簿維持費					25,389		25,389
組織維持費						70,000	70,000
管理費							
諸手当	255,360	18,240		273,600	547,200		820,800
消耗品費	54,359	3,883		58,242	116,488		174,730
通信費	47,425	3,388		50,813	101,460		152,273
交通費	394,872	20,783		415,655	332,524		748,179
備品費	27,940	1,996		29,936	59,870		89,806
水道光熱費	8,942	639		9,581	19,162		28,743
交際費	25,396	1,814		27,210	54,420		81,630
雑費	7,356	434		7,790	7,789		15,579
管理費							
諸手当						91,200	91,200
会議費						153,394	153,394
消耗品費						19,414	19,414
通信費						16,910	16,910
交通費						83,131	83,131
備品費						9,978	9,978
水道光熱費						3,194	3,194
交際費						9,071	9,071
雑費						1,731	1,731
経常費用計	2,432,233	922,087	500,000	3,854,320	6,609,797	458,023	10,922,140
当期経常増減額				▲3,154,820	892,453	11,619	▲2,250,748
当期一般正味財産増減額				▲3,154,820	892,453	11,619	▲2,250,748
一般正味財産額期首残高				60,085,590	207,570	145,547	60,438,707
一般正味財産額期末残高				56,930,770	1,100,023	157,166	58,187,959
正味財産期末残高				56,930,770	1,100,023	157,166	58,187,959

平成26年5月9日 桑太郎・三上眞喜子・三好達雄監事により監査、承認をうけました。